

運営推進会議記録

開催日時	令和3年 9月22日（水） 18時30分 ～ 19時30分	場 所	株式会社グッドライフケア 大阪本社2階研修室
参加者	北区包括支援センター 1名、北区大淀包括支援センター 2名、北区オレンジチーム 1名、都島区包括支援センター 1名、中央区包括支援センター 1名、クリニック 1名、病院 1名、訪問介護事業所 責任者 1名、訪問看護ステーション 看護師 1名、グッドライフケア大阪職員 29名		
○利用者推移の数字的データの紹介と考察 ○事例紹介 ○意見交換・質疑応答			
活動内容等の評価 感染症対策の為『Zoom』を用いて本会場と併せて会議を実施 Zoom参加者 外部 10名 職員 24名（最大接続時） 本会場参加者 外部 名 職員 5名 参加者合計 39名 ・定期巡回 令和2年6月～令和3年5月 利用者推移、4区合計介護度別グラフ、令和3年6月～8月 区別利用者推移、令和3年6月～8月 介護度別推移 ・事例発表 肺結核で入院歴があり、日常生活動作は全介助、意欲は低いけどだわりが強い方の退院後の事例 ・意見交換・質疑応答			
内容			
○利用者推移の数字的データの紹介と考察 ⇒月によって幅はあるが、人数の推移は60～70名前後。介護度割合は、要介護1と2の方が多く、定期巡回を利用しているが、必要なサービスだけ残すため、一度終了することがある。			
○事例紹介 ⇒退院サポートサービス...定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスとあわせて一か月間リハビリを行う。退院直後は自宅環境にあった動作ができないという声が多かったため、自宅での動作を練習する目的がある。他にも、動作にあった福祉用具の選定や、ご家族様への介助アドバイスなどのサポートもする。 また、退院当初は一日三回訪問介護で介入していたが、排泄の随時訪問が多く定期巡回に切り替えた経緯がある。			
⇒肺結核で入院歴があり、日常生活動作は全介助、意欲は低いけどだわりが強い方の退院後の事例を紹介。リハビリが再開後、立位訓練を毎日行うように指導し、台所で手洗いが実施できるようになるなど、段階的にできることが増え、発言も前向きになった。			
○意見交換・質疑応答 ・四肢の痛みがあり、自主的なリハビリが難しかったと思うが、意欲のない方にリハビリを取り組んでもらえた理由はあるか。 ⇒ご本人様の「トイレに行きたい」という目標があったということが一番だと思う。運動することによってどういうメリットがあるのか、毎回伝えていたことも、意欲向上のきっかけになったと思う。			
・コロナ禍での訪問の大変さや、DOTSなどの行政との連携を訊きたい。 ⇒DOTSに対する知識不足から始まり、DOTSの方と入念に打ち合わせを行った。感染対策は出社前の検温、マスク、消毒、フェイスシールドなど決まりを設けて、ご利用者様にもマスク着用をお願いしていた。			
事業所名	グッドライフケア24大阪	記録作成者	令和3年 9月28日 岡崎 大起

※ 原則として会議開催後2ヶ月以内にこの記録を作成・公表すること